



『たいき議会だより200号』の発行にあたり

昭和五十年十一月にたいき議会だより第一号を創刊して以来、ここに二〇〇号をお届けできましたことを心から嬉しく思います。

議会の活動を町民の皆さまに知っていただくため、そしてご意見、ご要望を反映させた明るく住みよいまちづくりのために、皆さまからのご支援とご理解をいただき、途絶えることなく発刊し続けられたことに対し、深く感謝を申し上げます。

創刊当時から大樹町を振り返りますと、生涯学習センター、町立病院、役場庁舎などの公共施設の整備、相馬市との姉妹都市協定の締結・吉岡町との友好都市協定の締結、多目的航空公園の造成をはじめとした航空宇宙産業の推進といった様々な出来事がありました。近年の大きく変化する社会情勢に対応し、さらなるまちの発展のためにも、議会の果たす役割はますます重要となっております。

今後も、町民の皆さまと町政に携わる者とのパイプ役となれるよう心掛け、ご期待に応えるべく一層の努力を重ねる所存でありますので、引き続きのご愛読をお願い申し上げます。



大樹町議会議長  
齊藤 徹

### 予算審査特別委員会

令和7年度予算を徹底審議 ……P4～5

### 一般質問

4名の議員が5項目を問う ……P6～8

「大樹町こども計画について」「部活動の地域移行の具体的実施について」など

# 別委員会での議論を経て 度当初予算を可決

当初予算や補正予算、  
条例の制定など  
43件を審議！！

3月4日・14日

一般会計予算 **1億7,111万1,000円**を追加補正

## 除排雪費用の不足分を補正

### 町道維持管理事業

2月に発生した大雪により、3月分の除排雪費用の不足が見込まれることから増額補正。



## 市街地の街灯などを修繕

### 街灯維持管理費

市街地の街灯や防犯灯の修繕費用が不足したことから増額補正。

## 起業経費の一部を補助

### 起業家等支援事業



新規申請が1件あったことから、増額補正。

#### 事業の概要

- 町内で新たに事業を行う場合や既存事業者が新規事業を行う場合に、起業経費の一部を補助。
- 空き店舗を利用した場合には取得・賃貸に係る経費の一部も助成。

## 寄附額の増加による補正

### ふるさと応援推進事業

ふるさと納税の寄附額が当初の予定額を上回ったことから、返礼品や業務委託料などの費用を増額補正。

## 条例の一部改正

### 大樹町高齢者等通院交通費助成に関する条例の一部改正 大樹町重度障害者等交通費の助成に関する条例の一部改正

医療機関に通院する高齢者等と、医療機関に通う、または社会参加を行う障がい者等の交通費の助成内容について改正。

#### 改正前

一律年額15,000円以内を助成。

#### 改正後

居住する行政区の距離に応じた金額以内を助成。助成する金額は以下のとおり。

- |                 |             |                |             |
|-----------------|-------------|----------------|-------------|
| ○大樹市街           | ⇒ 年額15,000円 | ○尾田・下芽武・更生・中島・ |             |
| ○上大樹・中大樹・東和・振別・ |             | 拓北・大光・あい川      | ⇒ 年額40,000円 |
| 下大樹・松山・石坂・日方    | ⇒ 年額20,000円 | ○拓進・浜大樹・旭・美成   | ⇒ 年額50,000円 |
| ○芽武・萌和・大和・開進・   |             | ○晩成・生花         | ⇒ 年額70,000円 |
| 上中島・豊里          | ⇒ 年額30,000円 |                |             |

令和7年  
第1回  
定例会

# 議案審議

3月4日～3月14日開催

# 予算審査特 令和7年

## 令和7年度 当初予算可決！

歳入歳出予算総額  
一般会計 82億 700万円、  
特別会計 18億9,490万円、  
企業会計 24億7,650万円  
を承認しました。

会計区分(当初予算)		令和7年度
一般会計		82億 700万円
特別会計	国民健康保険事業	6億2,600万円
	後期高齢者医療事業	1億1,100万円
	介護保険	7億 430万円
	介護サービス事業	4億5,360万円
企業会計	水道事業	8億3,290万円
	病院事業	11億6,210万円
	下水道事業	4億8,150万円

## \\ 知っておきたい令和7年度予算の主なもの //

北海道スペースポート整備事業  
北海道スペースポート整備工事  
6億4,924万5,000円



都市公園整備事業  
都市公園実施設計委託業務  
3,100万円



生涯学習センター運営費  
無線LAN設置業務  
空調設備設置工事  
7,400万2,000円



消防団管理運営事業  
水槽付ポンプ自動車更新  
6,012万6,000円



森林環境整備促進事業  
もいわ山森林公園  
展望デッキ設計業務  
221万5,000円



行政区会館等維持管理費  
中島地域コミュニティセンター  
屋上防水改修工事  
2,046万円



# 算 審 査 特 別 委 員 会

## 4日間開催 委員11名で徹底審議！！

審議し、原案可決しました。このページでは、委員会での質疑と答弁の一部を掲載しています。



交換により取得したヤンマーアグリジャパン株式会社跡地

### 土地のより良い利用方法があったのでは

#### 問 播間 章浩 委員

ヤンマーアグリジャパン株式会社の跡地を交換により取得されたが、国道沿いで立地が良い土地であるから、スクールバス置き場以外の利用方法があったのでは。

#### 答 黒川町長

当面は現在の車庫を利用していくが、立地が良い土地であるのは認識しているので、将来において町のアピールをできるような土地として利用したい。

### ふるさと納税額の増額に向けて

#### 問 辻本 正雄 委員

ふるさと納税返礼品となる地域特産開発を支援する担当窓口の拡充を図り、ふるさと納税額の増額を。

#### 答 黒川町長

地場製品の奨励事業などは商工観光係が窓口になっているが、それらの周知もPRになると思うので検討したい。

### 防災組織構築の考えは

#### 問 安田 清之 委員

災害発生時、公的機関だけでは対応できない部分を補うために防災組織を構築するべきだと考えるが。

#### 答 黒川町長

町内会自主防災組織の奨励は行っており、浜大樹と旭浜には自衛消防隊がある。各町内会にも自主防災組織の編成や防災活動を推奨したい。

### 国民健康保険の子どもの均等割を廃止しては

#### 問 志民 和義 委員

国民健康保険は子どもの人数で負担が増えるため、少なくとも未就学児童の2分の1を全額免除にするように、均等割負担をなくすことを求める。

#### 答 黒川町長

負担のあり方は町村単独で決めるものではなく、国のルールで金額を決定しているため、国で決めた負担をしていただいている。

### 保育士確保に向けた対策を求める

#### 問 吉岡 信弘 委員

第2子を産みたいが、第1子がこども園に入園できないため困っていると聞いた。保育を希望するすべての乳幼児が入園できるよう保育士確保などの早急な対策を。

#### 答 黒川町長

人員の確保は努力している。住宅手当などを手厚くすることも必要と考えており、そういったことも含め保育士の確保を考えたい。

賛成討論

#### 辻本 正雄 委員

第6期大樹町総合計画に基づき安心安全な住民生活を維持するための予算が計上されている。財政の健全性も持続的な財政運営に配慮した姿勢が認められ、十分に評価できる。よって、本案に賛成する。

一般会計予算

#### 志民 和義 委員

税の滞納対策は、滞納整理機構に負担金を支出するのではなく、町職員で解決することが重要で、住民の事情をよく知る町職員には解決する力が備わっていると考える。よって、本案に反対する。

反対討論

賛成討論

#### 船戸 健二 委員

後期高齢者医療制度は、高齢者の方が安心して医療を受けられるよう構築されたもので、17年を経過し、安定した事業運営が行われており、町の事務として、被保険者の身近な窓口業務が遂行されている。よって、本案に賛成する。

後期高齢者医療  
特別会計予算

#### 志民 和義 委員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別するものであるとの批判が多く、それまでの老人保健制度による事業運営で問題がなかったと考える。よって、本案に反対する。

反対討論



菅 敏範 委員長

# 令和7年度予

## 3月10日から3月13日までの

令和7年度の一般会計・特別会計・企業会計の8会計の予算について



改修工事が完了した晩成温泉



道の駅コスモール大樹の駐車場

### 晩成温泉の入浴料金を改定する考えは

**問** 寺嶋 誠一 委員

晩成温泉維持管理費は直近3年間で平均3,200万円。改修による施設価値の向上や今後のことも考慮し、入浴料金の改定と町民利用に関し、優遇した内容を検討するべきでは。

**答** 黒川町長

料金改定については考える時期だと思っている。今後に向けて、しかるべきときに改定の提案をしたい。

### 町内児童・生徒の学力向上対策は

**問** 西田 輝樹 委員

町内児童・生徒の学力水準の状況とそれに対する具体的な学力向上の対策は。

**答** 沼田教育長

小学校は全国平均を下回ったが、徐々に近づき、中学校は国語が全国平均を大きく上回り、数学は平均並み。デジタルドリル等を活用し、授業以外の学習機会の充実に取り組んでいる。

### 道の駅の駐車場を明るくするべきでは

**問** 西山 弘志 委員

道の駅の街灯が暗く、防犯上危険ではないか。町民や観光客から改善を望む声が上がっている。道の駅の魅力アップに向けて明るくするべきでは。

**答** 黒川町長

支障をきたしているということであれば考えたいと思うので、調べて検討したい。

### 猟友会の経費の補助を見直す考えは

**問** 船戸 健二 委員

昨年と同程度の予算が計上されているが弾薬やガソリンなどの経費が高騰している。鳥獣被害対策実施隊員、有害鳥獣駆除事業に関する報酬の増額、経費の補助と見直し、経費負担の軽減が必要と考えるが。

**答** 松久農林水産課長

弾薬、ガソリン代の値上がりは事務局としても承知している。今後も猟友会と話をしながら、随時検討したい。

## 表決の分かれた議案

※菅委員長は表決に参加しません

議 案 名	播間章浩	寺嶋誠一	辻本正雄	吉岡信弘	西山弘志	船戸健二	杉森俊行	西田輝樹	安田清之	志民和義	菅敏範	結 果
令和7年度大樹町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	原案可決
令和7年度大樹町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	-	原案可決

### 議会のペーパーレス化に向けて

令和7年度予算審査特別委員会では、議会のペーパーレス化に向けて、昨年9月に開催された決算審査特別委員会に引き続き、執行機関側のパソコン使用を認めました。今後もペーパーレス化を推進していく予定です。



## 町民の声を町政に届ける

西山 弘志 議員 …… P6

◎合葬墓（合同納骨塚）の整備について

志民 和義 議員 …… P7

◎文化団体の育成強化について

播間 章浩 議員 …… P7

◎大樹町こども計画について

菅 敏範 議員 …… P8

◎町有林の二酸化炭素吸収量売却と森林の整備について

◎部活動の地域移行の具体的実施について（新年度の教育行政執行方針に対する質問）

### ◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は一問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、一つ質問をして、一つ回答をします。

・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

### 質問

## 合葬墓の設置を切望する声があるが

### 答

町民ニーズを把握するアンケート調査は必要



記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



にしやま ひろし 議員

### Q1 合葬墓（合同納骨塚）の整備について

**質問** お墓を管理する継承者の不在やお寺の納骨堂の維持管理が経済的に困難な町民から合葬墓の設置を切望する声がある。十勝管内では4市町が合葬墓の運用を開始しており、設置の必要性について町民アンケート調査を実施する自治体が増えている。前回の一般質問からの進捗状況は。

**答**（黒川町長） 新聞報道による他自治体の整備状況などの情報は得ているが、この間、お寺の檀家離れを助長しかねないなどの懸念や合葬墓を造る場合の町の役割などを検討するため、町民向けのアンケート調査は実施していない。町民ニーズを把握する上でアンケート調査は必要と認識はしているため、整備の必要性を判断するための調査は行いたい。

**質問** お寺の意向や調査結果は。

**答**（牧田住民課長） 町内の6寺院に、お墓の継承者や経済的な問題から、合葬墓を含めた墓園のあり方などを調査した。1軒からは賛同の意見はあったが、町が率先して行うことに否定的な意見が多かった。

**質問** 町民の意向は把握しているのか。

**答**（黒川町長） 住民懇談会などで合葬墓の話題も出ており、状況は把握している。

**質問** アンケート調査はいつ頃を想定しているのか。

**答**（黒川町長） 他の自治体でも数年経過したら宗教団体の理解が増えたことを踏まえ、改めて調査する。町民アンケート調査も近々取り組んでいくことで検討する。

ここが聞きたい！ 一般質問



はりま あきひろ  
議員 章浩 顧問

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

# 新公園の計画について

答

コスモスガーデンに公園を整備したい

## Q1 大樹町子ども計画について

**質問** 子育てと仕事の両立支援、待機児童、病児・病後児保育、延長保育について。

**答** (黒川町長) 受け皿の整備が必要であり、役場内部の関係部署とも、どのような方法がいいか検討していきたい。

**質問** こども誰でも通園制度について。

**答** (黒川町長) 令和8年度から実施を予定しており、関係機関と実施に向けた準備を進めていく。

**質問** 子育ての生活環境の整備に関する公園、図書館などの整備について。

**答** (黒川町長) みどりの基本計画を策定し、公園整備や遊具の更新を適宜行い、公園の配置の見直しも行う。図書館の整備は、図書館のあり方検討協議会において、施設のあり方を来年度中に方向性を示すように協議を進めている。

**質問** 現状の公園の整備は。

**答** (黒川町長) 現状の公園についても、いろいろな意見をいただいている。危険であったり、壊れているものについては、適宜補修や取り換えをして、錆びている遊具などがあれば色を塗り直したり、しっかり対応していきたい。

**質問** 現在の図書館を子どもたちがもつと安心してゆつくり過ごせるような図書館にして欲しいという声があるが。

**答** (沼田教育長) そういった声もあるということも踏まえながら、検討していきたい。



したみ かずよし  
議員 和義 志民

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

# 指導者手当の引き上げは

答

管内自治体の状況を踏まえ検討する

## Q1 文化団体の育成強化について

**質問** 高齢化社会において文化活動に参加する住民が少なくなっている。町内の指導者が減少し、町外の指導者が多くなっていることから、指導者の養成が必要と考えるが。

**答** (沼田教育長) さまざまな学習活動に参加された方が学習者から指導者になるケースもあり、若い世代に対して自主的な学習活動を促すよう社会教育主事から助言などを行っている。また、部活動地域移行の取組で「人材バンク」の整備を進めており、文化活動における指導者などの発掘、育成の強化につなげる。

**質問** 指導者の手当引き上げの考えは。

**答** (沼田教育長) 現在、自主学級などへの講師謝礼として、町内在住者5千円、南十勝管内在住者1万円、十勝管内在住者1万6千円としている。今後は、管内自治体の状況を踏まえ、講師謝礼の引き上げを検討する。

**質問** 文化芸術推進基本計画策定の進捗状況は。

**答** (沼田教育長) 令和6年度に第7期生涯学習推進計画を策定し、文化芸術の継承と参加機会の提供、誰もが文化芸術を楽しみ、創造できる環境の整備など、国が定める文化芸術推進基本計画に沿った内容を盛り込み、本町の文化芸術の推進に努めているので計画は策定していない。



すが としのり 議員

記載内容は  
要約しています。  
詳細は議会中継を  
ご覧ください。



Q1



Q2

## 町有林の 二酸化炭素吸収量 売却の考えは

質問

答

Jクレジットの創出に向けて  
協議を進めている

**Q1** 町有林の二酸化炭素吸収量売却と森林の整備について

**質問** 森林の二酸化炭素吸収量を国が認証する「Jクレジット」として企業に販売し、売却益を町有林の整備などに活用する考えは。

**答** (黒川町長) 昨年に脱炭素に向けた取組として、三井物産株式会社とスペーススコタン株式会社の3者で、Jクレジットの共同創出の可能性に向けた協議を進めている。

**質問** 現時点でのスケジュール、目指すスタートは。

**答** (松久農林水産課長) 制度を活用してJクレジットを創出するには、令和7年度は協議を継続し、令和8年度に二酸化炭素の吸収量と排出量に関する事業計画書の提出や現地測量のモニタリングを行い、Jクレジットの発行は令和9年度にできればと考えている。

**Q2** 部活動の地域移行の具体的実施について

**質問** 地域移行は、小中高連携を基本に議論されてきたが、既存の少年団活動、部活動に対する今後の対応は。

**答** (沼田教育長) 10月までモデル事業の陸上競技や茶道を地域クラブとして実施し、検証結果で今後の対応を協議する。

**質問** 活動実績のあるスポーツ少年団や吹奏楽部を、優先的に地域クラブにするべきでは。

**答** (沼田教育長) 団体競技は、指導者、活動場所、移動手段などで他町村との連携に課題があり、直ちに地域移行は難しいので個人種目から実施したい。

## YouTubeで議会中継をご覧ください！

本会議や予算・決算審査特別委員会はライブ中継しています。  
ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧ください。  
スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会の傍聴  
できますので、ぜひご利用ください。  
大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や  
録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。

大樹町議会  
チャンネル



## 次の定例会は 6月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

詳細は議会事務局へお問い合わせください

**TEL 6-5035**

## 請願・陳情は どなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

令和7年  
第1回  
臨時会

# 議案審議

1月28日開催

補正予算、財産の  
無償譲渡  
3件を審議！！

一般会計予算 **8,855万1,000円** を追加補正

## 非課税世帯へ給付金を支給

### 低所得世帯への支援給付金事業

国の総合経済対策に基づき、非課税世帯に対し1世帯あたり7万円（18歳以下の養育児童がいる場合、1人につき2万円加算）を支給する費用を増額補正。

## 施設の備品を更新・追加

### 晩成温泉維持管理費



晩成温泉の3月1日のリニューアルオープンに向け、古くなったロビーラウンジチェアと、新たに設置する野外デッキ用のリクライニングチェアの購入費用を増額補正。

## いつもの買い物をお得に

### 商工業振興対策事業

消費の下支えと好循環化を目的に、町内で使用できるプレミアム商品券を発行する費用を増額補正。



#### 事業の概要

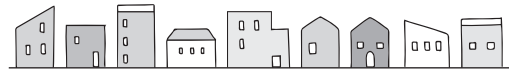
- プレミアム率：33%  
（3,000円で4,000円分購入できる）
- 販売数量：12,000セット

### 問 志民 和義 議員

プレミアム付き商品券とクーポン券の併発で行ってほしいという声があるが。

### 答 黒川町長

内部で議論したところ、商品券で消費を拡大し、広く多く利用してもらおうということで今のかたちになった。



## 町内生産者へ農業用機械をリース

### 産地生産基盤パワーアップ事業

農業機械のリース導入により農作物の安定的な生産・供給を目指す本事業において、大樹町農業協同組合の生産者7件の計画に補助採択を受けたことによる予算を増額補正。

## 漁業協同組合の経営を補助

### 大樹町漁業振興事業



物価の高騰により経営に影響を受けている大樹町漁業協同組合に対し、資材代・輸送費・電気料金の高騰費用2分の1を上限に、補助金を支給する費用を増額補正。

令和7年  
第2回  
臨時会

# 議案審議

3月21日開催

補正予算  
1件を審議！！

一般会計予算  
**3,590万円**を  
追加補正

## 町道・公共施設の除排雪費用を増額

### 町有地・建物維持管理経費

### 町道維持管理事業

予算の不足が見込まれることによる増額補正。

# 広報広聴常任委員会活動報告

## 住民懇談会

### 子育て世帯の皆さんと『出産・子育て環境について』懇談

2月6日、子育て世帯の皆さんとの懇談会を開催しました。7名の方々にご参加いただき、出産と子育て環境の現状や町への意見や要望をいただきました。懇談の内容を抜粋してお知らせします。

#### ■現状

##### ①保育園について

- ・育児休暇を延長できない母親もおり、しゅしゅ（※）で一時的預かりしてもらい仕事に行っている。
- ・子育て環境が良くないからと帯広に住み、大樹に通っている人もいる。

##### ②子どもの遊び場について

- ・公園の遊具の塗装が剥がれている、遊具の下に水たまりがあるなど不衛生。
- ・コスモールの室内遊具は1歳程度だと遊びにくい。タイルカーペットがずれて少し不衛生。
- ・公園の管理が行き届いていない。きょうだいで連れていけるところがない。

##### ③図書館について

- ・キッズスペースが使いづらい。子どもはすぐ飛び出していってしまい、本が選べない。
- ・今の図書館は対象者ごとにスペースや階数が分かれているのが行きづらい。せめてワンフロアにあればいい。

※しゅしゅ…認定こども園たいき内の子育て支援センター

#### ■意見・要望

##### ①保育園について

- ・南保育所で未満児のみの保育園を作ってほしい。
- ・病児や病後児保育をすごく求めている。きょうだいの1人が元気で1人が病気の場合、2人とも預けてもらえるといい。

##### ②子どもの遊び場について

- ・今の公園にある遊具を低年齢の子どもでも遊びやすいものに整備してほしい。
- ・公園の管理を各行政区にしてもらえるよう周知してほしい。
- ・土日に利用でき、幅広い年齢の子どもと一緒に遊べる屋内遊具施設を整備してほしい。

##### ③図書館について

- ・入口に靴箱、スリッパ、ベビーゲートを設置してほしい。
- ・図書館建設の進捗状況を定期的に議会で追及してほしい。

懇談内容は議会と町で共有しています。いただいた意見や要望は、議員の一般質問や常任委員会の所管事務調査などの議会活動に活かし、より地域課題に即した議会運営を目指します。



#### ■委員報告 ※一部抜粋

##### ○播間 章浩 委員長

- ・保育園の待機児童について不安の声が多かった。正確な現状把握も今後必要である。
- ・意見の中でもすぐに解決できそうなこともあり、また解決することにより安心して出産、子育てができる環境づくりが必要である。

##### ○船戸 健二 副委員長

- ・子育て環境、仕事と子育ての両立支援体制として多くの改善点と懸念点が浮き彫りになっていることを認識し、早急な体制整備が必要である。
- ・こども園は法人運営だが、今後町内唯一のこども園として町との関係強化、支援策の検討が重要。

##### ○菅 敏範 委員

- ・女性が働き続ける職場環境の改善が求められる中、待機児童解消は少子化対策の重要課題として取り組むべき。
- ・図書館は間借りのため利用者の要望を満たす対応ができない面もあるが、改善できることは改善し、改築の方向性を早期に確定する必要がある。

##### ○西山 弘志 委員

- ・公園の維持管理への要望や通学路の安全対策など、参加者から率直な意見が交わされた。
- ・参加者の有意義な意見や要望などに対し真摯に向き合っていくことでこれからの出産、子育ての環境について支援すべき。

##### ○吉岡 信弘 委員

- ・今までの懇談会は夜の開催だったため、参加できなかったとの声があった。子育て中のお母さんでも集まれる時間帯に開催するべき。
- ・待機児童問題は、先延ばしにできない事態。希望するすべての乳幼児が入園できる体制を確立するため、早急に保育士確保を図る施策を示し、実行するべき。

##### ○寺嶋 誠一 委員

- ・町として子育て世帯を歓迎していない印象を受ける。この印象を見直さないと子育て世帯は増えず、少子高齢化を進めることとなる。
- ・幼児等が安心して遊べる屋内、屋外施設の充足化は重要な課題。
- ・子育て世帯の意見を聴取する方法として、会議などのオンライン参加は重要。

# 追跡レポート



議会での質問事項や  
可決予算について、  
現在の状況を追いました。

## 令和6年9月開会 令和5年度決算審査特別委員会 ユースタウンの入居条件緩和について

**問** 町営単身者専用住宅ユースタウンの年齢要件や所得基準を緩和しては。

**答** 基準を見直す時期と思っており、管内の状況を調査している。どのような基準が必要か考えたい。

**その後** 令和7年1月より要件を改定。

### 変更点

■**所得**⇒月額15万8,000円未満から  
月額15万8,000円以上48万7,000円  
以下、または15万8,000円未満へ拡大

■**年齢**⇒36歳未満の独身者から  
41歳未満の独身者へ拡大

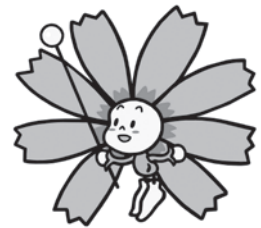
## 令和6年9月開会 令和5年度決算審査特別委員会 奨学金の免除、援助について

**問** 人材確保・育成のため大樹町に一定期間働いた場合は奨学金の免除や支払いの援助をするべきでは。

**答** 内部でも議論している。制度設計に向けて情報収集をしており、来年度以降に仕組みを考えていきたい。

**その後** 令和7年度の貸付決定者から、償還免除を導入。

最終の学校を卒業後に大樹町に居住すると、その年数に応じて償還免除が受けられます！



令和6年3月 第1回臨時会  
令和6年度当初予算で可決

### 学校管理費

大樹小学校・中学校の空調設備（エアコン）設置工事が完了。（令和7年1月）



令和6年7月 第3回臨時会  
一般会計補正予算で可決

### 災害時相互支援体制構築事業

B&G財団の防災拠点整備事業の補助を受け、災害対策用の公用車を導入。（令和7年2月）

平常時は役場公用車として活用。



# を振り返って

通じた感想、反省点や今後の意気込みをいただきました。



寺嶋 誠一

< 2期目 >

急速に進みだした社会的なデジタル化(DX)は、これまで役場窓口で限られた時間内でしか受け取れなかった書類が、いつでもどこでも入手可能となる日は近いと感じます。このデジタル化が万が一の災害時に大きく役立つ事例が多々あります。平時のデジタル活用が災害時に少しでも役立つウェルビーイングに焦りを感じる2年間でした。



播間 章浩

< 1期目 >

初めて議員となり、右も左も分からなかった状況ですが、一つ一つ経験や勉強を重ね議員活動をさせていただいております。新人ながら広報広聴常任委員会の委員長の重責を担わせていただきました。町民の皆さまには議会だよりを通じ、議会での審議内容などを広報したり、町民の皆さまの声を聴く懇談会などを定期的に行ったりして、町民の皆さまの声を町に届けました。

2年間ですが大変多くの貴重な経験を積みさせていただきましたので、この経験を活かし残りの任期を全うしたいと思います。



船戸 健二

< 3期目 >

初心を忘れず雑巾がけから始める気持ちではじめ、2年が経過しました。この間町民のみなさんの様々な意見や要望を聞き、行政視察や研修会に参加、情報収集を通じて一般質問などを行ってきました。振り返ると自分自身の中で議員としての見え方、考え方に変化を感じたところです。

みなさんからのありがたいご意見を届けられるよう残り2年間、議会活動にまい進したいと思います。



西山 弘志

< 2期目 >

この2年間、議会運営委員会副委員長、経済常任委員、広報広聴常任委員、都市計画審議会委員などを勤めさせていただきました。また、交通安全、ボランティア活動を通じて、子どもの安心安全を見守っています。

町は宇宙のまちづくりを進め、宇宙版シリコンバレーの実現に向け官民一体となってプロジェクトを進めています。

これからも宇宙のまちづくりに期待するとともに協力していきたいと思っています。



志民 和義

< 8期目 >

2023年4月の選挙で8期目の当選となり、責任の重さに身の引き締まる思いがします。コロナ禍が第5類となってからも感染対策に気を緩めることなく進めていかなければ議員活動に支障をきたしてしまいます。コロナ禍以降議会ばかりでなくオンラインによる研修、zoom会議、タブレット端末を積極的に活用する研修を行ってきました。今後2年間「できない」「無理だ」ではなく、「やってみよう」という挑戦する意気込みをもっていきたいと決意しています。



安田 清之

< 7期目 >

この2年間、頻発する災害や終わりの見えない物価高騰など、社会情勢が絶えず変わっていく中、町がその変化に柔軟に対応するよう提言し、町民の声を行政に届けるために努力してきたつもりです。

議会運営委員長として、ICT化とペーパーレス化を推進し、令和7年度にはタブレットと会議システムの導入を決めるなど、着実に前進してきています。

今後も町民の皆さんが安心して暮らせる町になるように、町民の声に耳を傾け、自身にできることを考え続け、議会活動に努めてまいります。

# 議員任期2年間

任期2年目を終えた議員の皆さんから、これまでの議会活動を



吉岡 信弘

< 2期目 >

地球温暖化の影響が深刻になっている中、令和5年に熱中症対策のため小中学校にエアコンを設置してはと一般質問した結果、町は令和6年に設置完了しました。

漁業は、海水温の上昇の影響か秋サケの回遊が激減状態で、サクラマスの港内養殖に取り組んでいます。酪農などにも影響が出ております。

町の産業は、漁業形態、畑作物選定などで気候変動に柔軟に対応していく必要があると考えます。



辻本 正雄

< 2期目 >

議員選出の監査委員となり、毎月の例月出納監査、年1回の一般会計及び特別会計・企業会計の決算審査、基金運用審査、健全化判断比率審査、定期監査、年度末の企業会計棚卸検査などを行い、法令に従って私たちの税金が適正かつ効率的に使用されたかチェックを行う役割を担い、2年が経過しました。監査委員からの指摘事項に対し、町は再発防止策を速やかに講じられたところです。

監査で培った適正かつ効率的に財政と行政運営が行われているかの視点を今後も議員活動に役立てていきたいと考えます。



西田 輝樹

< 4期目 >

この2年間、生活者の視点に立って議員活動を行ってきました。

しかし本当に優しい議員で各種判断に誤りの少なかったのか、若い時のように未来に夢のある高い志を町民のために提示できる議員であったか、反省ばかりです。

この2年間は高齢者福祉、再生エネルギー、教育分野を中心に関心を持って活動してきましたが、今後もこの分野を中心に行政上の課題としたいです。



杉森 俊行

< 3期目 >

昨今はメール等の時代になってきていますが、私はメールを使うことができません。使いたいとも思っていませんでした。昨年の議会運営委員会の行政視察で受講したデジタル庁の伊藤参与の講演を聴き、デジタル化はむしろ高齢者の暮らしにこそ役立つことに感銘を受けたところです。

議会では、タブレットを導入して議会のICT化を進めていきます。不安な部分も多く、やりたくはありませんが、慣れるまで一生懸命努力しようと思います。



齊藤 徹

< 4期目 >

令和5年の統一地方選挙から、議長に就任して、2年目を終えることができました。

デジタル活用によるDX化が急速に進められており、管内におきましても、自治体間で温度差はありますが、大樹町議会もタブレット導入・ペーパーレス会議を徐々に取り組み、今後も町と両輪になり、住民本位の行財政運営を行い安心して暮らしていただけるよう、議会の監視・評価機能を最大限に活かしながら、持続可能な活力ある「まちづくり」を進めるため、議会任期後半に、尽力してまいります。



菅 敏範

< 4期目 >

2年間、副議長の重責を担いながら、その責務を果たせていないことを反省しています。

議員活動として、大樹高校の入学生確保、部活動の地域移行や低迷する漁業の活性化などを提言してきましたが、今後に残された課題も多く、みんなで知恵を出し合いながら、より一層議論を深めて行かなければならないと思っています。

# 一目でわかる 審議結果



第 1 回 臨時会	
令和 6 年度一般会計補正予算（第 8 号） 歳入歳出それぞれ8,855万1千円を追加。	原案 可決
令和 6 年度介護保険特別会計補正予算（第 5 号） 歳入歳出それぞれ77万7千円を追加。	原案 可決
財産の無償譲渡 歴舟中学校敷地として指定寄附を受けた土地について、廃校により寄附目的が消滅し、町として当該土地を学校として利用する計画がないことから、寄附者相続人に無償譲渡。	原案 可決
第 1 回 定例会	
大樹町議会委員会条例の一部改正 現行の組織機構を改めることによる条例の一部改正。	原案 可決
大樹町固定資産審査評価委員会委員の選任 委員に妹尾美晴氏を選任、角倉和博氏を再任することに同意。	同意
大樹町長等の給与の減額に関する条例の制定 町長の月額給与を100分の20、副町長は100分の10をそれぞれ1か月分（令和 7 年 4 月分）減額することに伴う条例の制定。	原案 可決
大樹町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正	原案 可決
大樹町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 育児休業、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の施行に伴う条例の一部改正。	
大樹町職員の給与に関する条例の一部改正 令和7年度から扶養手当の引き上げと、配偶者の扶養手当を廃止、再任用職員に寒冷地手当及び住宅手当を支給するため関連する条例を一部改正。	原案 可決
公益的法人等への大樹町職員の派遣等に関する条例の一部改正	原案 可決
大樹町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 大樹町職員の給与に関する条例の一部改正に合わせた、再任用職員の手当見直しに伴う条例の一部改正。	
大樹町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 子ども子育て支援法等の一部を改正する法律により、こども誰でも通園制度が創設されることから、設置に向けた条例の制定。	原案 可決
大樹町立認定こども園設置条例を廃止する条例の制定 尾田認定こども園閉園に伴う条例の廃止。	原案 可決
大樹町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 子ども子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令が施行され、家庭的保育事業等において、保育従事者の配置、運営基準の見直し等が行われることによる条例の一部改正。	原案 可決
大樹町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 子ども子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令が施行され、特定地域型保育事業所の運営基準などの見直しが行われることによる条例の一部改正。	原案 可決
大樹町学童保育所条例の一部改正 学童保育料の改定による条例の一部改正。	原案 可決
大樹町高齢者等通院交通費助成に関する条例の一部改正 医療機関に通院する高齢者等の交通費の助成内容改正に伴う条例の一部改正。	原案 可決
大樹町重度障害者等交通費の助成に関する条例の一部改正 社会参加または医療機関に通院する障がい者等の交通費の助成内容の改正に伴う条例の一部改正。	原案 可決
大樹町営牧場条例の一部改正 町営牧場使用料の改定に伴う条例の一部改正。	原案 可決
大樹町道路占用料徴収条例の一部改正 北海道の道路占用料の改定に伴う条例の一部改正。	原案 可決
大樹町普通河川管理条例の一部改正 北海道の河川の占用料の改定に伴う条例の一部改正。	原案 可決
大樹町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正 建設業法施行令の一部改正に伴う条例の一部改正。	原案 可決
定住自立圏の形成に関する協定書の一部を変更する協定の締結 管内19市町村との間で交わした同協定の第4期十勝定住自立圏共生ビジョンに合わせた協定内容の一部変更に伴う協定の締結。	原案 可決
町道路線の廃止 旧日方団地の解体や起点・終点の変更に伴う町道路線の廃止。	原案 可決
町道路線の認定 起点・終点の変更や新たな町道の規定に伴う町道路線の認定。	原案 可決
工事請負契約事項の変更 北海道スペースポート整備事業に係る工事のうち、インフラ整備の一部を次年度に変更するため、契約金額を6億1,006万円から5億7,899万6千円に変更。	原案 可決

令和6年度一般会計補正予算(第9号) 歳入歳出それぞれ1億6,911万1千円を追加。	原案 可決
令和6年度国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ872万4千円を減額。	原案 可決
令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ512万7千円を減額。	原案 可決
令和6年度介護保険特別会計補正予算(第6号) 歳入歳出それぞれ5,991万7千円を追加。	原案 可決
令和6年度介護サービス事業特別会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ1,779万2千円を減額。	原案 可決
令和6年度水道事業会計補正予算(第3号) 収益的収入を1,017万7千円追加、収益的支出を2,039万6千円追加。 資本的収入を775万3千円減額、資本的支出を1,487万1千円減額。	原案 可決
令和6年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号) 収益的収入・支出を343万円減額。資本的収入・支出を36万4千円減額。	原案 可決
令和6年度下水道事業会計補正予算(第3号) 収益的収入を1,064万1千円減額、収益的支出を11万1千円減額。 資本的収入を1,475万9千円減額、資本的支出を1,928万7千円減額。	原案 可決
令和7年度一般会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ82億700万円とする。	原案 可決
令和7年度国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億2,600万円とする。	原案 可決
令和7年度後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億1,100万円とする。	原案 可決
令和7年度介護保険特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億430万円とする。	原案 可決
令和7年度介護サービス事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億5,360万円とする。	原案 可決
令和7年度水道事業会計予算 収益的収入を4億5,482万3千円、収益的支出を4億9,620万8千円とする。 資本的収入を1億7,370万2千円、資本的支出を3億3,669万2千円とする。	原案 可決
令和7年度町立国民健康保険病院事業会計予算 収益的収入・支出をそれぞれ11億1,762万円とする。 資本的収入を4,310万円、資本的支出を4,448万円とする。	原案 可決
令和7年度下水道事業会計予算 収益的収入を3億2,292万8千円、収益的支出を3億2,983万3千円とする。 資本的収入を5,412万2千円、資本的支出を1億5,166万7千円とする。	原案 可決
令和6年度一般会計補正予算(第10号) 歳入歳出それぞれ200万円を追加。	原案 可決
令和6年度国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号) 保険給付費等交付金特別交付金が想定より多く交付されることから、99万9千円を追加(財源組替)。	原案 可決
大樹町B&G海洋センタープールの利用期間延長とプールデッキ常設に関する陳情 利用期間延長についてはすでに措置を行っていること、また、プールデッキの常設については、教育委員会と後援会で継続して話し合いを進めていくことに了承を得ているため、趣旨採択。	趣旨 採択
<b>第2回臨時会</b>	
令和6年度大樹町一般会計補正予算(第11号) 歳入歳出それぞれ3,590万円を追加。	原案 可決

## 広報広聴常任委員会



委員長 播間 章浩  
副委員長 船戸 健二  
委員 菅 敏範  
委員 西山 弘志  
委員 吉岡 信弘  
委員 寺嶋 誠一

## 編集後記

「議会だより」は1975年の初刊号発行から50年の時を経て200号となり、これまで、編集に関わった関係者に対し心から感謝します。

議会だより1号発行当時には図書館の開館、100号発行当時には特別委員会による航空宇宙基地予定地視察などの様々な出来事があり、それらを町民の皆さまへお伝えしてきました。

これからも、議案や一般質問の議論経過が、「読み易く、理解できる」紙面づくりを目指していきます。

委員長 菅 敏範

# たいき議会だより 200号を記念して

「たいき議会だより」は昭和50年11月の創刊から50年の歳月を経て、今回で200号を迎えました。これまでに発行した議会だよりの一部をご紹介します。今後も受け継がれてきた編集方法を活かすとともに、「読みやすく、わかりやすい議会だより」の作成に尽力してまいります。

## 創刊号



当時は白黒で、大きさも少し小さいB5サイズでした  
(昭和50年11月)

## 50号



50号発刊記念として元議員による座談会を掲載  
(昭和62年11月)

## 52号



多目的航空公園建設にあたり建設予定地を視察  
(昭和63年5月)

## 100号



100号発刊記念として議長・広報委員長の挨拶を掲載  
(平成12年5月)

## 172号



これまでのレイアウトを一新し、現在の2色刷りへと変更  
(平成30年4月)

## 200号



200号発刊記念として議長の挨拶・記念ページを掲載  
(令和7年4月)